

学校目標『元気いっぱい 自分から学び 共に高め合う西与賀っ子』の育成

西にしよかつ子

令和 7年 6月16日(月)
文責 校長 大石 文枝 5号
☎ 0952-23-6300



㊦ここにあいさつする子 ㊧しっかり勉強する子 ㊨ろこんで働く子 ㊩からだをきたえる子 ㊪ながり学び合う子 ㊫ころをみがく子

■ 早寝・朝ご飯の勧め ～朝食は王様のように～

体づくりのために「早寝・早起き・朝ご飯」が推奨されていることは、ご承知の通りです。今年度本校は、「早寝と朝ご飯」75%を達成目標にしています。運動会が終わり、気持ちを切り替えて次の目標に向かって張り切って登校してくる子が多い中、最近、少し元気がない子もちらほら見受けられます。「元気ないようだけどどうした？朝ご飯は食べてきたの？」と聞くと、「食べてない」という応えが返ってくることもあります。どうしたことでしょう。これでは、いけません。

日本には、夕食に一番手をかけてご馳走を食べる傾向がありますが、西洋には「Eat breakfast like a king, lunch like a prince, dinner like a pauper.」という格言があるのをご存じでしょうか。これは「朝食は王様のように、昼食は王子のように、夕食は貧者のように食べなさい。」という意味です。つまり、一日のエネルギーの基となる朝食を一番大切に考えているというわけです。朝食は、一日のスタミナ源ですからしっかりと摂り、夕食を摂ったらほどなく寝てしまうので、ほどほどでもよいというのですから、確かに理にかなっています。

さて、そんな大切な朝食をなぜ食べてこないのでしょうか？それには、いくつかの原因があると思いますが、一番は、夜遅くまで起きていて、それが元で朝遅く起きてしまい、当然目覚めてすぐの朝食は入らないので食べてこないといった悪循環になっているようです。もしかしたら、おうちの方もせっかく準備していたのに子供が食べないことが続くと、つくることをやめてしまう、手を抜くことになってしまっているのかもしれないですね。

朝食を抜くと元気が出ないのはもちろん、栄養不足から疲れやすくなったり、脳の働きも悪くなったりします。精神的に不安定になったり貧血になったりします。だから、学校では学習に集中できないだけでなく、ちょっとしたことでいらいらして友達とトラブルになることもあります。子供たちの健やかな成長と笑顔の学校生活のためにも、早寝と朝ご飯（王様の朝食）へご協力をお願いします。

■ 5年生米づくり 種まき・苗床づくり

今年度も5年生は JA 青年部の方々に協力いただきながら農業体験・米づくりに挑戦します。その第一弾として5月28日(水)に青年部の方が10名ほど来校してくださり、種まきをしました。作業はまず苗箱に土を入れるのかと思ったら、なんとスポンジのようなものを入れます。「えーっ」と思っていると、その上に種を蒔くのだという説明が続きます。衝撃でした。時代は確実に進化しているようです。子供たちはと何のためらいもなくスポンジの上に種を蒔いていきます。重ならないように慎重に、そして優しい手つきで広げて。きっと、傷つけたくなかったのでしょう。蒔き終わったら種の上からこれまた優しくふわりと土をかけていました。最後に黒いかんれんしゃを青年部の方がかぶせてくださいました。発芽を楽しみに待つ子供たちです。朝と帰りの水やりもがんばっています。順調に育つと、田植えは6月25日の予定です。



優しく優しくたねを広げて

■ 1・2年生 サツマイモ苗植え

学校南側の畑に今年もサツマイモの苗を地域の方々にお手伝いしてもらいながら5月28日(水)に植えました。畑を耕したり畝をついたり草が生えないようにビニルシートをかぶせたり、準備は全て地域の方々が担ってくださっています。しかも、この日も8名の地域の方が来てくださっていました。昨年も思いましたが、本当に頭が下がります。地域の方にお礼を言うと「よかよ。子供たちのためやもん。」と言ってくださいます。たけぐしをさして穴をあけ、そこにサツマイモの茎を差しませんが、地



大きく育ててね!と願いを込めて

域の皆さんが上手に手助けして下さいますので、あっという間に子供たちは植え終わることができました。畑は運動場の南端の方にあるにも関わらず、早速、次の日には、「水やりに行ってきます。」と言って、教室を飛び出していく子供たちでした。秋の収穫が楽しみです。

■ 交通安全教室

5月30日(金)に交通指導員の平川さんと石井さん、警察官の佐々木さん、市役所生活安全課の方に来ていただいて交通安全教室を開催しました。1・2年生は、安全な歩行の仕方の講話を聞いた後、学校周辺の道路に出て歩行実技を行いました。3年生以上は、自転車の乗り方の講話を聞いた後、運動場につくった模擬道路で自転車実技や歩行実技を行いました。登下校中、放課後など交通の危機は常にあります。交通のきまりを守って、安全な行動ができるようになってほしいと思います。



講話を真剣に聞いて



横断歩道では手を挙げて



信号や左右をよく確認して



あせらずゆっくりと歩いて

■ 2年生 町たんけん

6月4日(水)に生活科の学習で町たんけんに出かけました。2年生は各施設(交番、野中かまぼこ、堀江パン、星空学習館、ブルスタ、宝うどん、まえうみ、光郵便局)を巡る探検です。今回も地域の総勢22名の方が各グループに分かれて付き添い、引率のお手伝いをしてくださいました。子供たちは熱心に施設内の様子を見学したり仕事の内容について説明を聞いたりした後、疑問に思ったことなどを積極的に質問しました。



地域のお宝を聞く子供たち

■ 4年生 社会科見学

4年生は社会科学習の一環として6月6日(金)に環境学習の施設を見学に行きました。下水浄化センターでは、施設内を見学しながら4つの宝(①処理水が海に放出されて海苔養殖の役に立つこと②汚泥が肥料になること③バイオガスで電気をつくること④二酸化炭素で植物の成長を助けていること)を見て、触って、感じてきました。さが水ものがたり館では、約400年前に成富兵庫茂安が考えた治水事業である象の鼻・天狗の鼻の実際を見学しました。エコプラザでは清掃工場とリサイクル工場を見学したことで、ごみをできるだけ出さない工夫と分別して出さなければならないことがよく分かりました。3か所の施設見学を通して、環境にいいことをしていこうと決意を新たにしました4年生でした。



象の鼻・天狗の鼻で
水の流れる様子に感
心する子供たち

■ 6年生 東名遺跡学習

東名遺跡とは、佐賀市金立町にある今から8000年前の縄文時代の遺跡です。その遺跡の出前授業を学校で行いました。東名遺跡は、あの有名な吉野ヶ里遺跡よりも6000年も古い遺跡で、しかも佐賀市内に存在するという事実に子供たちは更に興味が増したのか熱心に学んでいました。この遺跡からは東名縄文人の暮らしの分かる様々な物(イノシシやシカなどの動物の骨や貝殻、木の実の化石、かご)が多数出土しており、それらの一つ一つを目の前で見て「何を食べていたのか?」「どんな道具を使ったり作ったりしていたのか?」のなぞをひもとく学習でしたので、2時間があっという間に過ぎていきました。同じシカの角でも現存している形が違えば用途の違いがあったことが分かること、イノシシの雄の牙は抜け落ち、それを利用してアクセサリを作っていたことなど初めて知ることばかりで、「そんなことしてたんだ」と感嘆の声があちこちから、漏れ聞こえてきました。今の暮らしと比べて、遠い昔の縄文人に思いを馳せる子供たちでした。



さすが6年生、聞き方上手